

少しずつレベルアップしよう！

防災訓練計画に係る事例発表・意見交換会

日時 令和6年11月10日（日）10時～

場所 サンライフ甲西2階

主催 防災士連絡会（スキルアップ委員会）

少しずつレベルアップしよう！ 防災訓練計画に係る事例発表・意見交換会 発表一覧

番号	団体名	訓練名称	災害種別	備考
1	桐松区(松風苑自治会)	初期消火訓練	火災	
2	近江台区(近江台区自治会)	黄色いタオル掛け&菩提寺7区情報伝達訓練	地震	
3	宝来坂区(宝来坂自治会)	「我が家は無事です！黄色いハンカチ作戦」 (宝来坂区総合防災訓練)	地震	
4	夏見区	我が家の防災診断	風水害	
5	岩根西区	防災訓練	地震	
6	ハイウェイサイドタウン区	湖南省防災訓練	地震	
7	三雲区	区民の安否確認	地震及び 風水害対策	
8	水戸学区(工業団地中区、北区、南区合同)	サイレンが鳴ったらご自宅玄関前に避難!!	地震	

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名(自治会名)	桐松区(松風苑自治会)
訓練名称	初期消火訓練
災害想定 (地震・風水害)	火災
訓練対象	自治会役員+住民
訓練参加率	10~20名程度
訓練のねらい	<p>団地内の、あえて消火栓の設置されていない通りに火点を想定し、ホースが足りない場合を含め、より実際の火災をイメージしながら訓練してもらう</p> <p>元消防団員を含んだ防災部による、消火栓を使った初期消火訓練 但し水は出さない。又高齢者が多く、ゆっくり丁寧に説明したいので、走らない。</p>
訓練の流れ	<p>①訓練の趣旨等説明</p> <p>②消火栓のある場所へ移動。初めに、火災を発見した時どうするか～説明</p> <p>③ホースを想定する火点まで繋いで行く。決して走らずゆっくり説明しながら行う</p> <p>④片付け、終了</p>
訓練の効果	<p>火災を発見した時の心構えから、ホースをつなぐ動作・足りない場合の対応など、効果は高いと思われる。</p> <p>今後は何か別の訓練を複合的に行えないか思案中</p>

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名(自治会名)	近江台区(近江台区自治会)
訓練名称	黄色いタオル掛け&菩提寺7区情報伝達訓練
災害想定 (地震・風水害)	地震
訓練対象	自治会役員+住民
訓練参加率	約160世帯の80%ほど
訓練のねらい	湖南省総合防災訓練にあわせ区での初動訓練を行うとともに菩提寺まちづくり協議会内7区の情報伝達訓練を同時に行う
訓練の流れ	<p>【事前準備】 訓練の案内チラシを全戸配布(訓練の目的など)</p> <p>①8時の湖南省による防災無線を合図に近江台区防災チーム三役が防災チーム本部員を一時避難場所に招集(災害対策本部設置)</p> <p>②区長(防災チーム副代表)より防災無線で訓練開始をアナウンス</p> <p>③防災チーム代表より自治会班長に担当エリアの黄色いタオル掲示確認を指示</p> <p>④菩提寺7区災害対策本部(菩提寺まちづくり協議会)へ近江台区災害対策本部設置を無線にて報告</p> <p>⑤確認した黄色いタオルの掲示を班長から災害対策本部に報告</p> <p>⑥順次班長から報告のあった内容を住宅地図に落とし込み集計</p> <p>⑦タオル掛けの結果を菩提寺7区災害対策本部報告(各区共有)</p> <p>⑧訓練終了を菩提寺7区災害対策本部に報告</p> <p>⑨反省会を行い終了</p>
訓練の効果	区民に有事の際に無駄を省くための黄色いタオル掛けという初動の意義を理解してもらおう

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名(自治会名)	宝来坂区(宝来坂自治会)
訓練名称	「我が家は無事です!黄色いハンカチ作戦」(宝来坂区総合防災訓練)
災害想定 (地震・風水害)	地震
訓練対象	自治会会員全世帯(430~440軒、年度により増減あり)
訓練参加率	83%(R5年) 87%(R4年) 86%(R3年) 89%(R2年) 留守宅含む
訓練のねらい	<p>震度5強以上の地震が発生した場合、1~13班の正・副班長が班員宅を回り安否確認を行うよう従来より申し送りされている。 地震の際「被害がない・家族は無事」である場合ハンカチを掲げてもらい、正・副班長が効率よく班員の安否を確認できるとともに、救援の必要な世帯に人員や資材を集中的に投入することを目的とする。</p>  <p style="text-align: center;">実際の掲揚例</p> 
訓練の流れ	<ol style="list-style-type: none"> ① AM8:00地震発生(市総合防災訓練時の防災行政無線サイレン) ② 家に居る家族が無事で救助や支援が必要ないことを想定して「黄色いハンカチ(我が家は無事です安否確認フラッグ)」を玄関や郵便ポストなど道路から見える場所に掲げる。 ③ 自治会1~13班正・副班長は自治会名簿(班名簿)により班全戸を見回り、「黄色いハンカチ」掲揚の有無をチェックリストに記録。 ④ 「黄色いハンカチ」の掲揚がない場合は個別に留守か在宅かの確認をし、在宅の場合は非掲揚の理由を確認する。 ⑤ 全戸のチェックリストを災害対策本部に持参し結果を報告する。
	<p>宝来坂ふるさと防災HPでも紹介しています。 https://bousai.houraizaka.net</p> 
訓練の効果	<p>老若男女問わずコロナ過においても参画しやすい内容(家から出なくて済む)で、地域社会との協働(近隣の家と同じ行動をする)を通じて、防災への関心や意識付けを行うことができ一定の成果を上げている。 (※ 参加率は例年80%半ばだが、留守宅を除くと約90%)</p>

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名（自治会名）	夏見区
訓練名称	我が家の防災診断
災害想定 （地震・風水害）	風水害
訓練対象	区内全世帯
訓練参加率	概ね80%
訓練のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過において毎年実施していた全世帯対象の避難場所への参集訓練が実施できなかったことにより、参集しない訓練として実施したもの。 ・風水害における災害リスクは、各家の立地条件によって浸水深の違いや土砂災害の危険など違うことから、防災マップを確認して我が家のリスクを知ることで適切な避難方法を認識することが目的。
訓練の流れ	<ol style="list-style-type: none"> ①区役員会にて、各町内に全世帯分のフローチャート式の診断書を配布 ②次回役員会で回収 ③結果を集計して区民へ周知
訓練の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅のリスク状況に応じた避難方法の習得。 ・特定日の一斉行動でないため、参加率が高かった。

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名（自治会名）	岩根西区
訓練名称	防災訓練
災害想定 （地震・風水害）	地震
訓練対象	区内全世帯
訓練参加率	軒数で見た参加率 86% 安否確認者率 102%
訓練のねらい	・地震災害時を想定し、主に一時集合場所への避難、安否確認及び報告を実施して、区民の防災意識を高める。
訓練の流れ	<p>①区防災執行部会にて、訓練に向けて計画、準備等検討会議数回開催</p> <p>②組長会でミニ防災講座開催（7，8，9月）</p> <p>③防災訓練実施についての案内文を区民に配布</p> <p>避難までの区民の行動</p> <p>一時（いつとき）集合場所へ避難</p> <p>災害対策本部</p> <p>一次（いちじ）避難場所</p>
訓練の効果	反省会では様々な意見が聞けそれなりに防災意識が向上している連携の仕方の大切さを再認識出来た。

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名（自治会名）	ハイウェイサイドタウン区
訓練名称	湖南省防災訓練
災害想定 （地震・風水害）	地震
訓練対象	区内全世帯及び役員
訓練参加率	概ね80%
訓練のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会での緊急時連絡ルート、所要時間の確認 ・自治会館の一時避難所及び本部開設 ・携帯が通じない想定して安否確認を行う ・自治会員は、安全な状況を示すタオルを、自宅の郵便受やポスト附近に示す ・携帯以外で外部との連絡を取る為に無線機のテストを行う ・防災無線放送やサイレンの聞き取り状況調査
訓練の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・市の防災訓練放送後に、自治会長より、役員へ避難場所開設の情報が発信される ・自治会館に役員集合し本部開設 防災放送を行う＝自治会員は無事報告でタオル示す ・副会長3名は受持ちの班長、副班長の安否確認を行う ・班長、副班長に班員さんの安否確認を指示する ・班長と副班長は、手分けして班内の安否確認を実施する ・確認情報を、班長又は副班長が、本部に直接報告を行う。 * 現実に発生した場合は被害状況も報告する事になる ・外部との連絡訓練として、菩提寺町づくりセンターと無線機で交信する
訓練の効果	

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名（自治会名）	三雲区
訓練名称	区民の安否確認
災害想定 （地震・風水害）	地震及び風水害対策
訓練対象	自治会加入世帯（830世帯）
訓練参加率	100%報告確認
訓練のねらい	毎年防災の日に16自治会参加による三雲区情報伝達訓練を実施し 毎年行うことにより自治会各家の情報収集をはかる。
訓練の流れ	<p>①自治会ごとに役員が各家に電話及び訪問確認を行い、防災隊長である区長に結果を連絡する。</p> <p>②防災委員会で各区報告確認。</p> <p>反省点</p> <p>①1軒1軒確認に時間がかかり、全体報告に各自治会時間差が見られた、今年度は白いハンカチを表に掲げる事により安否確認を行う様にする。</p> <p>②現在行っている安否確認は自治会加入者が対象である為、全区民を対象活動方法を考えて行きたい。</p>
訓練の効果	・何回も行う事により行動を身に着けられる。

訓練計画作成ワークショップ発表用フォーマット

区名（自治会名）	水戸学区（工業団地中区、北区、南区合同）
訓練名称	サイレンが鳴ったらご自宅玄関前に避難!!
災害想定 （地震・風水害）	地震
訓練対象	水戸小学校区内全域
訓練参加率	対象世帯は1447です、さて参加率は？
訓練のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の安否確認を目的とした、全戸参加型訓練。 ・各組代表、防災班長のチェックから報告までの動き。 ・情報伝達班、消火班、救急救護班、避難誘導班、避難所運営班それぞれの班の行動を確認しあう。
訓練の流れ	<p>① 1か月前に「サイレンが鳴ったら玄関前に避難！」のチラシを全戸配布。</p> <p>② 二週間前、情報伝達班、消火班、救急救護班、避難誘導班、避難所運営班の各班ごとの事前打ち合わせ。</p> <p>③ 一週間前、各組代表、防災班長を含めた防災会議にて当日の動きの確認。</p> <p>④ 訓練当日、サイレン吹鳴後玄関前避難の住民を各組代表、防災班長がチェックし一次避難場所へ報告に行く。</p> <p>⑤ 全組チェック用紙回収後、避難誘導班の指示のもと水戸小体育館へ移動。この際リヤカーや車イスも使用。</p> <p>⑥ 体育館では避難所開設訓練、AEDを使った救急救命講習やホースの使用指導などを行う。</p> <p>⑦ 今年は第3分団による「ポンプ操法」を披露して頂きました。</p>
訓練の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・全住民へ災害の備えに対する意識付け。 ・各班、個人等の知識習得、スキル向上。